土砂対策緊急調査チーム派遣（7月19日~23日）

派遣概要

余震や降雨等により新たな土砂災害発生の危険性が高ことから、二次災害を防止するため、人命に影響を及ぼす恐れのある土砂災害危険箇所等を点検するよう本省から要請があり、2班計6名の職員を19日～23日にかけて派遣した。

派遣職員

（1班）

新庄河川事務所	赤川出張所　所長		高橋　正志
〃	銅山川出張所	技術係長	小幡　養弘
〃	寒河江川砂防出張所	技術係長	大山　幸弘

（2班）

岩手河川国道事務所	建設専門官	日下部　栄一
湯沢河川国道事務所	建設監督官	大西　喜夫
福島河川国道事務所	工務第一課　砂防係員	虻川　巧生



調査内容

調査隊は国土交通省職員、県職員、砂防ボランティア等で27班、約120人で編成され、約1900箇所の点検調査を実施した。

東北の派遣職員の調査実施地域は以下のとおり

7月20日　旧長岡市内を調査。

7月21日　震度6弱以上の地域の調査を優先させるため，
旧小千谷市の調査を実施

7月22日　旧長岡市内を調査。

